

防コミの歩き方



世代をこえて輪が広がった総合防災訓練

○長坂地域の紹介

長坂地域は西区伊川谷町の一角に位置し、野菜や花づくりの盛んなところですが、近年は大規模なマンションが建ち並ぶ住宅地として発展しています。また、小学校から大学まで近接する文教地区でもあります。

長坂防コミ（長坂校区防災福祉コミュニティ）は、発足当初より長坂ふれあいのまちづくり協議会などと融合しながら、防災訓練など活動を行っています。

○地域・大学連携で防災情報誌を発行

神戸学院大学ボランティア活動支援室と長坂地域住民との連携した防災活動が続いており、その中で防災情報紙「いっせーのせ」を刊行、すでに10号を数えています。

昨年は両者の意見交換をもとに、地域の危険箇所特定や災害時の避難ルートの提案など、学生目から見た「防災マップ」を作成しました。

長坂防災ジュニアチームでは、現在23名の小学校児童が参加し、毎月防災学習や訓練など楽しく活発な活動を行っています。

○大人も子供も楽しく学び交流がすすむ

今年2月、4年ぶりに開催した総合防災訓練は、小中学校生徒多数が参加したのを始め、総勢240人が訓練に参加して盛況でした。防コミスタッフとともに大学生20名が参加、学生ブースを出展したほか、避難、救助訓練などでリーダーとして活躍、地域住民

に喜ばれ、お互いに交流も進みました。

炊出し訓練では、ボーイスカウトと学生のみなさんが力を合わせて豚汁を作り参加者に提供「美味しかった」「楽しかった」と好評で「来年も必ず参加しようね」などの声が聞かれました。

○地域の特性・多様性を生かして防災対応を取り組む

大規模な自然災害の発生時、消防や行政の対応力だけでは限界があることは明白です。

「自分の命は自身で守る」「自分で守れない命は助け合って守る」ことが必要と考えます。長坂防コミは、地域の特性・多様性を活かし、防災訓練や市民防災リーダー研修などを通じて、地域で顔の見える関係を醸成するなど、これからも活動を進めていきます。

（長坂校区防災福祉コミュニティ 川尻幹雄）

